

落すてちたもむせく十よりあハ女多あうもやとくひつ

是ハ古註よ云るが如く鷹の逸おのまぎやくもの落るまぎやく  
ぞく中そくやく鷹のとれば大とくひうせど度くわハせ十  
やも及へハ今ハ鷹をやませく味く女多とくやと鷹と  
かへた雄多ハやぬりのあればあやかひひどもかる逸おの  
殺あくるほちふとや

かう人のとうふ沈のうと鷹のひもむゆれやう柴

沈より鷹の名所の菱毛といひうとあるといへるあり

此ひも未詳萍毛なと云われが鷹法の派義よりてそれ

名もあといふもぬべうれを此萍毛ウキウサチと云やと君侯ハ